

## 紙上避難訓練に関する学習指導案

～自ら判断し主体的に行動できる力を身に付け、防災意識を高める～

校 種	高等学校	本時に関わる 資質・能力	知識・技能	
対象学年等	第1～3学年		思考力・判断力・表現力等	○
教科等	LHR		学びに向かう力	

### 1 避難訓練のねらい

地震や火災などの災害に際し、生徒全員が安全に避難できるよう避難場所の確認と正しい避難経路について、自ら判断し主体的に行動できる力を身に付けさせ防災意識を高める。

### 2 学習過程 (25 分間)

学習過程	生徒の活動	教職員の動き (□)・留意点 (●)
導入 (3分間)	○避難訓練の手順と避難経路について考える。	(※その他)
展開 (17分間)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">○ワークシートで出火場所を確認して、避難経路を考える。</div> ○ワークシート①を使い、個人で避難経路を書き込み、その経路を選んだ理由についても明記する。 ○ペアもしくはグループで、その経路を選んだ理由について話し合う。	□ワークシートは出火場所の違う3種類を用意する。 (1年化学教室, 2年調理室, 3年職員室) ●避難経路について、選択をした根拠を考えさせる。
		
	○数グループが発表する。	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>Point1</b> 主体的に行動できる避難訓練                          児童生徒等が学習した知識や技能を活用して、適切な避難訓練を選択するなど、災害に適切に対応する能力を身に付けることのできる訓練等を通じて、日常生活でも実践できるように指導をしていくことが重要。                     </div>
		□生徒の意見を板書するなど、クラス全員で共通理解できるように示しとめる。
	○ワークシート②から火災発生時の対処を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発火確認→火災報知器作動</li> <li>・火災放送→教室で指示を待つ</li> <li>・初期消火についての説明 →消火器を持って駆け付け、消火活動をする。</li> <li>・避難上の注意事項確認</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                         →階段、校舎内では                          「押さない! 走らない! しゃべらない! もどらない!」                          →前の人が転んだら、右手を挙げて「ストップ」の合図                     </div>	□ワークシート②を配付する。 ●火災の第1発見者に、生徒自身になる場合もあることと、その場合の手順を確認する。 ●どこに火災報知器があるか確認させる。 ・炎が天井に達していると消火は無理であることを伝える。

	<p>→窓を閉めて電気を消す。</p> <p>→全員が教室を出たことを確認し、扉を閉める。</p> <p>→避難場所まで出火場所からできるだけ離れ、安全に避難できる経路を考える。</p>	
<p>まとめ (5分間)</p>	<p>○消防から講話を聞く。</p> <p>○一斉防災の資料を確認する。</p> <p>・非常時には落ち着いて行動できるよう普段から防災について考える</p> <p>・自分の住んでいる地域の防災へ関心を持つ。</p>	<p>□消防署からの文書を読み上げる。</p> <p>※消防署の読み原稿の作成を依頼し、事前に準備しておく。</p>

### 避難経路を選んだ理由

#### 火災の特徴を考慮した考え

- ・爆発する危険性や火元によっては引火性の薬物や有毒ガスなどの発生の危険性を考え、火元から遠いルートを選ぶ。
- ・火元の窓ガラスが割れる危険性や落下物の可能性を考慮して、ルートを選ぶ。
- ・煙は上へ上るので、早く階下へ逃げるルートを選ぶ。
- ・火元から離れて広い駐車場を目指すルートを選ぶ。

#### 災害時の混乱を想定した考え

- ・避難経路の密集を避けるルートを選ぶ。
- ・一挙に多くの人が外に避難できるように、1階で外に出る扉の多い会議室をルートにする。

### 消防署からの講話

本日の避難訓練は、本校が作成している消防計画の中で計画している年2回の防災訓練の一環として実施しました。今までの、全員が一斉に避難する訓練とは違う訓練になりましたが、そのことで、戸惑った方も多いと思います。しかし、今回のように考えて心の準備をしておけば、いざという時必ず役に立ちます。

(中略)

皆さんは知っていると思いますが、火災発生時の避難のときに一番怖いのは、煙です。煙は上に上る性質があり、機密性の高い学校のような建物では横方向には早歩き位の速さ、縦方向には駆け上がるよりはるかに早い速さで進みます。避難するときは、「人を押さない」・「走らない」・「しゃべらず・静かに」・「低い姿勢で鼻・口をタオルやハンカチ、マスクなどで覆って」避難してください。

また、最も大切なことは、火事を起こさないことです。家で料理をする人もいます。火を使っているときは必ず火の側においてその場を離れるときは必ず火を消しましょう。火遊びは絶対だめです。

最後に、本日実施した訓練を元に、消火器の位置の確認、避難経路の確認を行い、安心安全な高校生活を送ってください。

1年生用ワークシート①

**火災発生!**

**化学教室**が燃えています!!

あなたは今、教室にいます。避難場所はグラウンドです。  
どこを通過して避難しますか?ルートを書きましょう。

**3館**

音楽	多目的3B	多目的3C	美術
書道	2-4	2-3	多目的3A
情報処理	2-2	2-1	礼法 家庭
分類実習	実習	被服	実習

**2館**

図書室	同書庫	物理
1-2	1-1	化学
1-4	1-3	生物

**1館**

3-2	3-1
会議室	会議室
3-4	3-3
職員室	職員室

グラウンド

観礼台

武道場

その避難経路を選んだ理由を書きましょう。

①

**Point 2 消防署との連携**

本取組は、消防署に紙上避難訓練とする趣旨等を事前に説明をし、消防署と連携した取組である。各校で作成している防火計画に基づく避難訓練とするためには、管轄の消防署と必ず連携すること。